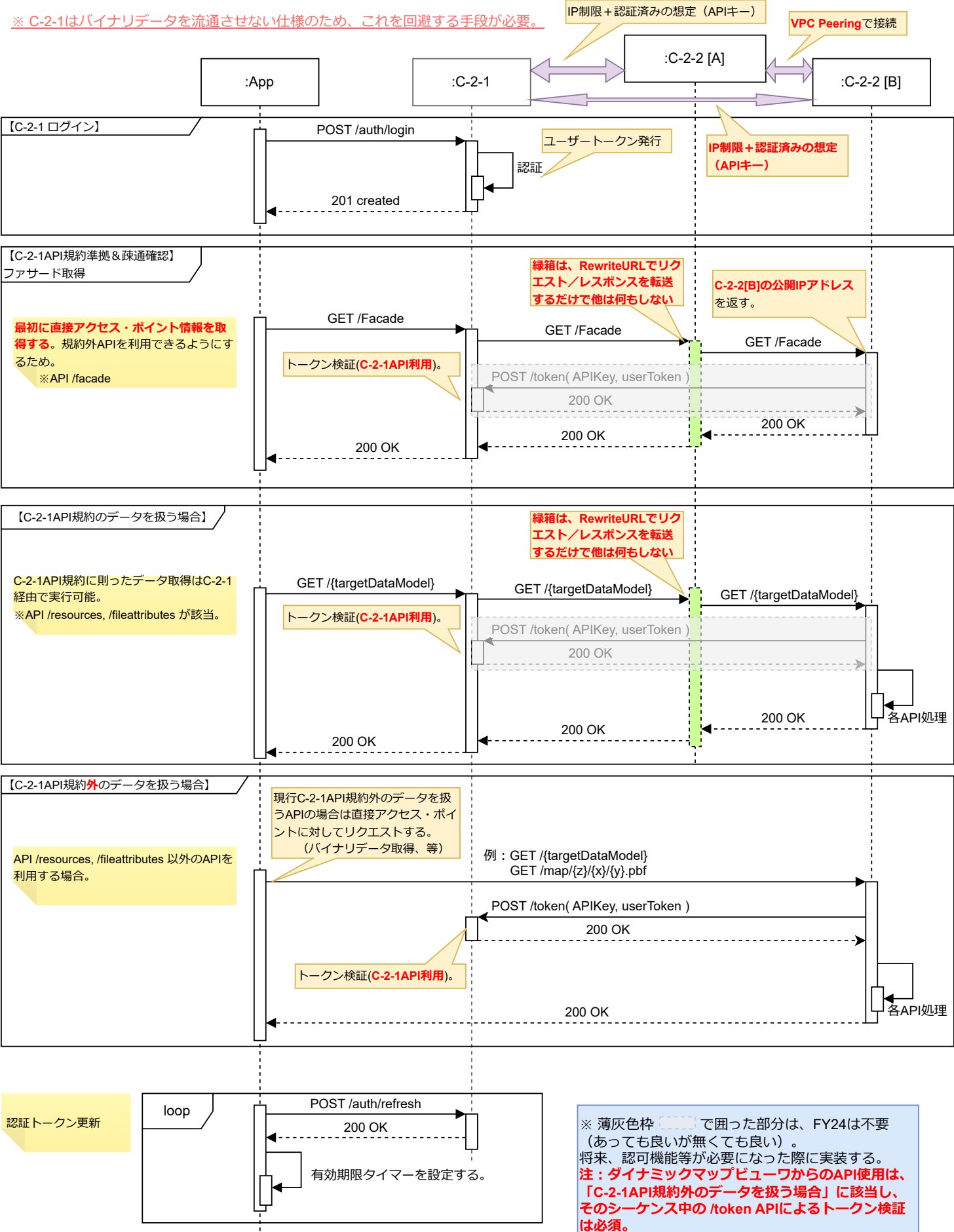


デジライン標準（アプリがデータ流通システム(C-2-1)を通じて通信する場合）

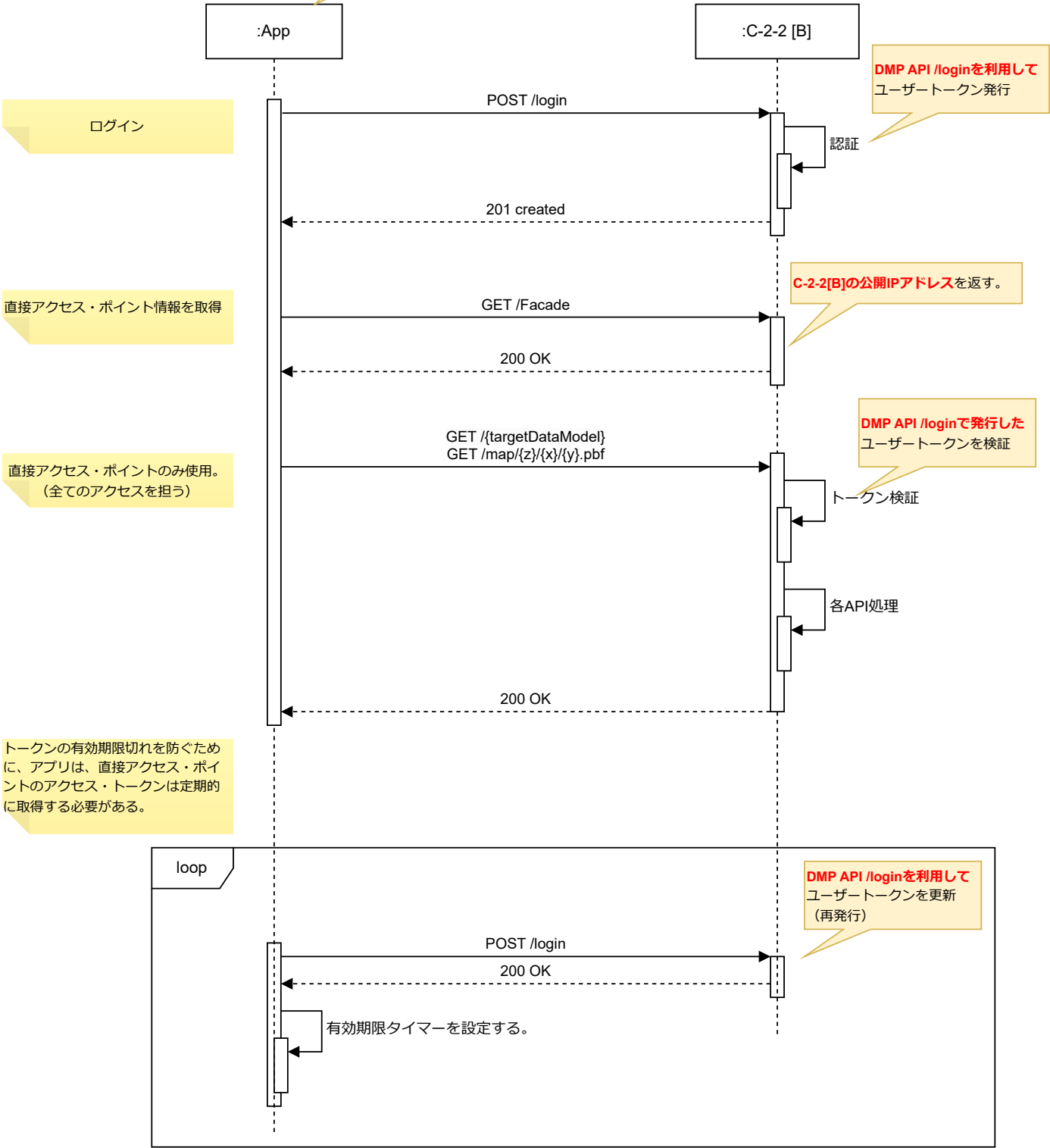
※ C-2-1はバイナリデータを流通させない仕様のため、これを回避する手段が必要。



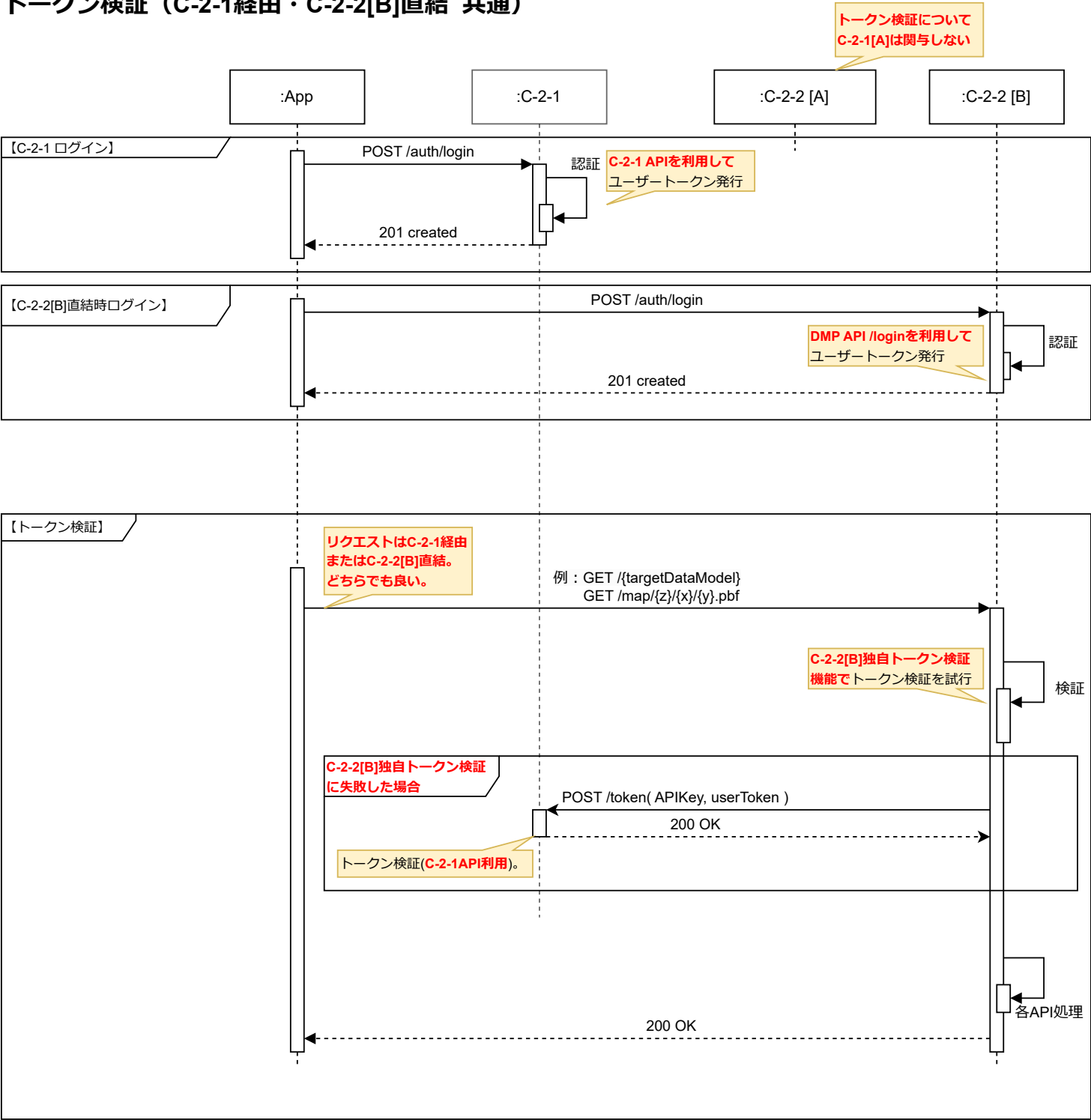
アプリが車両情報連携システム(C-2-2[B])と直接通信する場合

【このシーケンスは、検証時（C-2-2DMP部のみで（C-2-2NTTデータ部無しで）試験する場合）  
および、将来ビューワ・アプリを3DMapsPocketに転用する時に使用する想定】

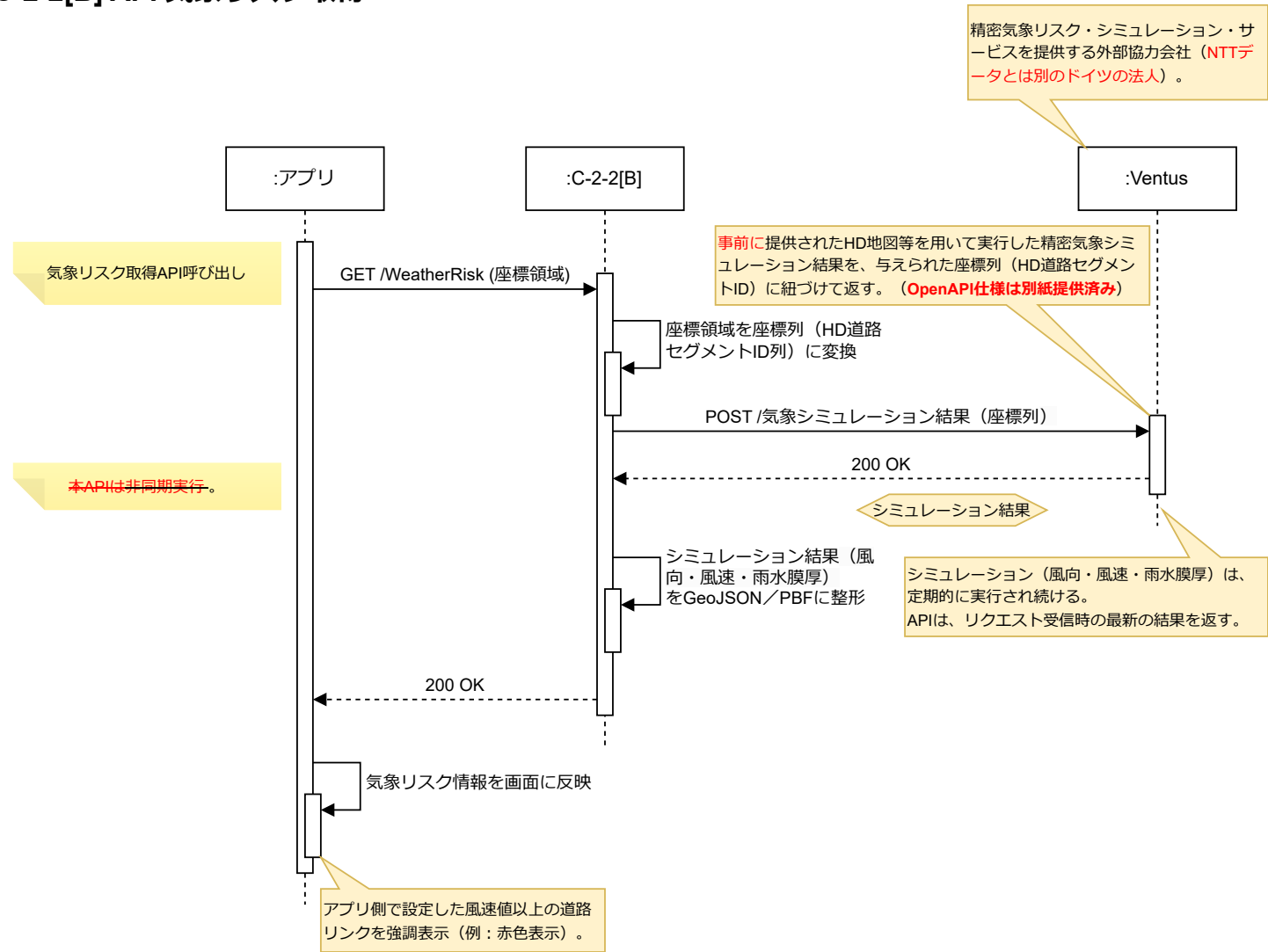
アプリがC-2-2[B]に直結する場合はC-2-2[A]提供APIは利用不可の想定



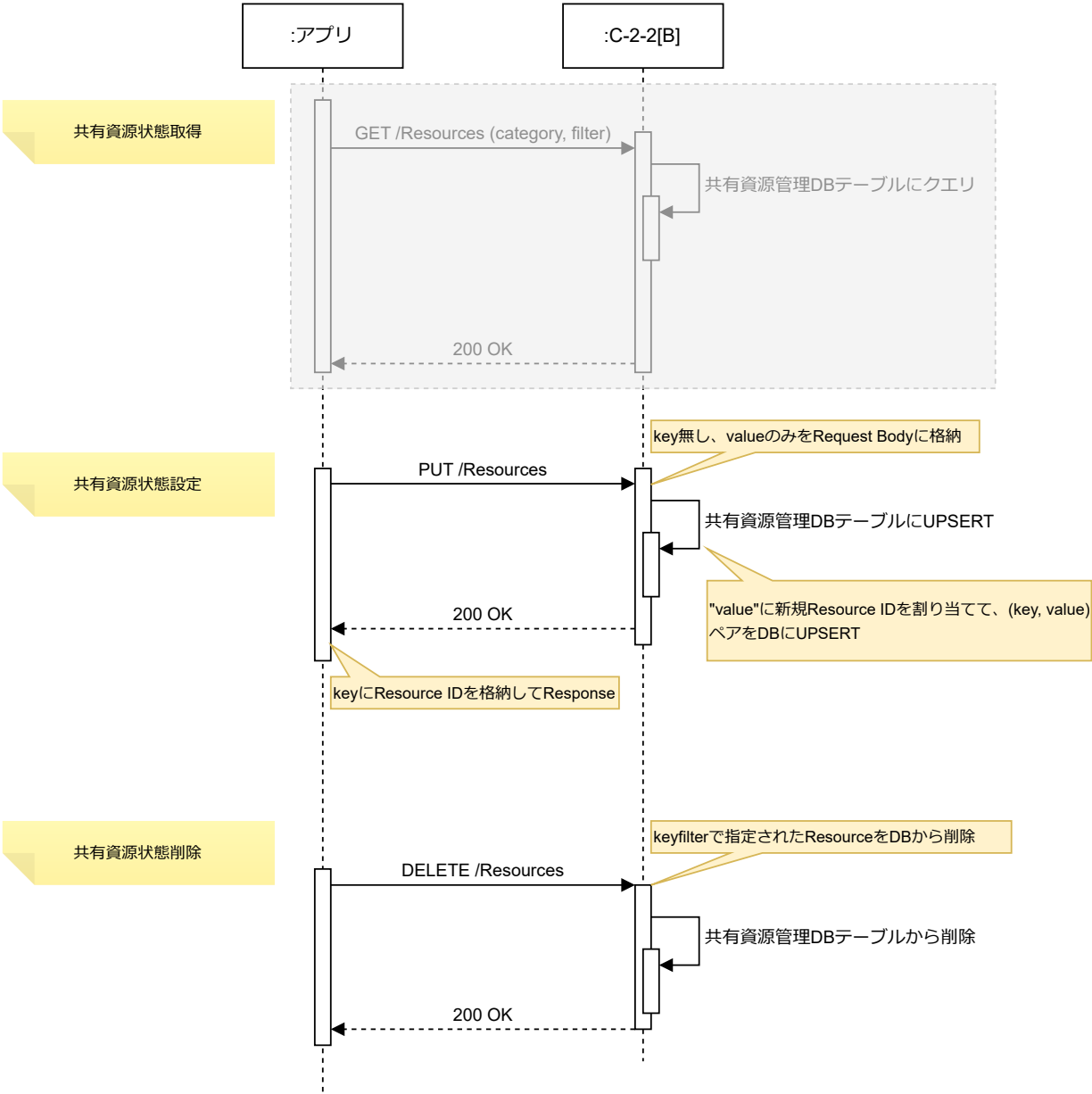
トークン検証 (C-2-1経由・C-2-2[B]直結 共通)



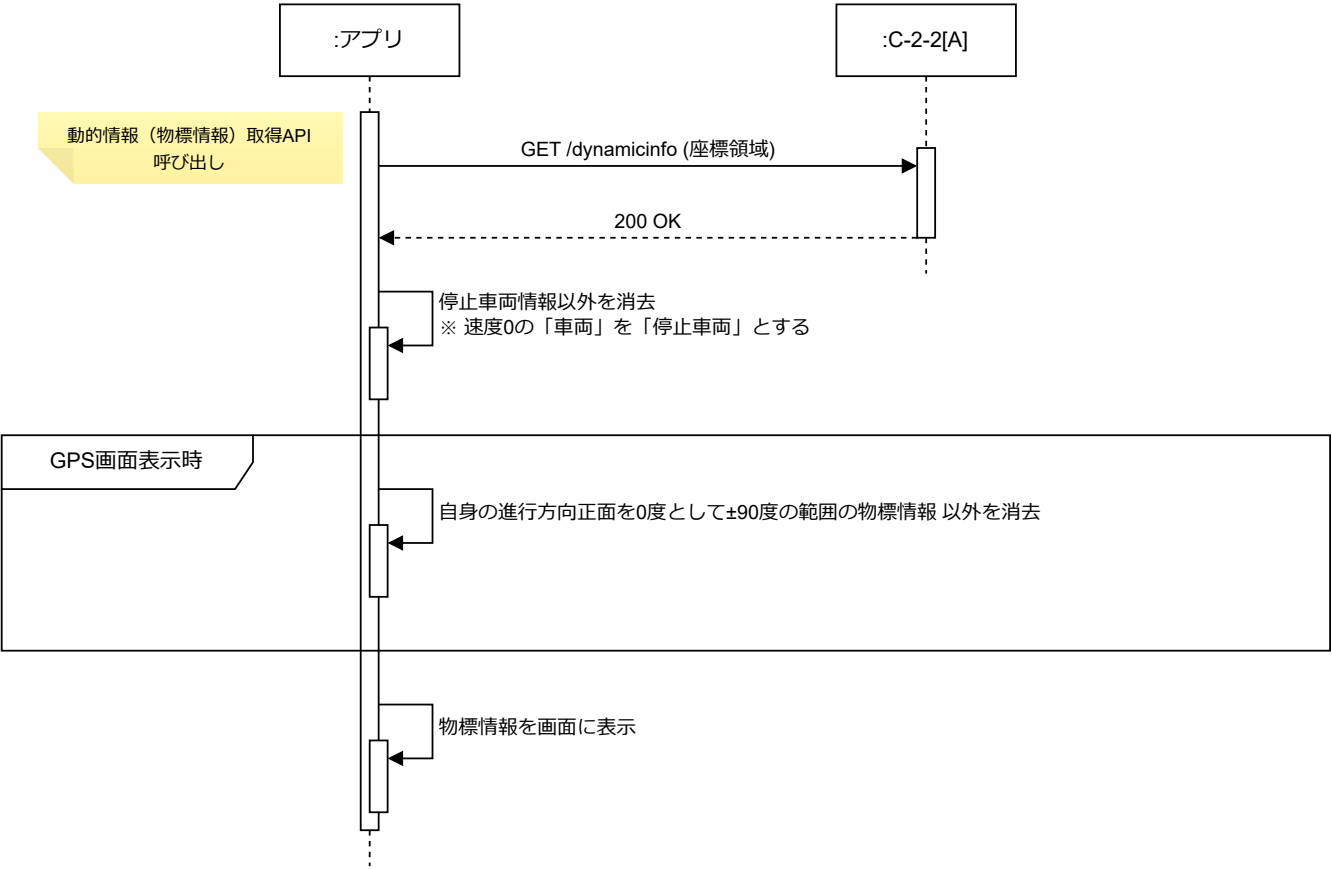
C-2-2[B] API 気象リスク取得



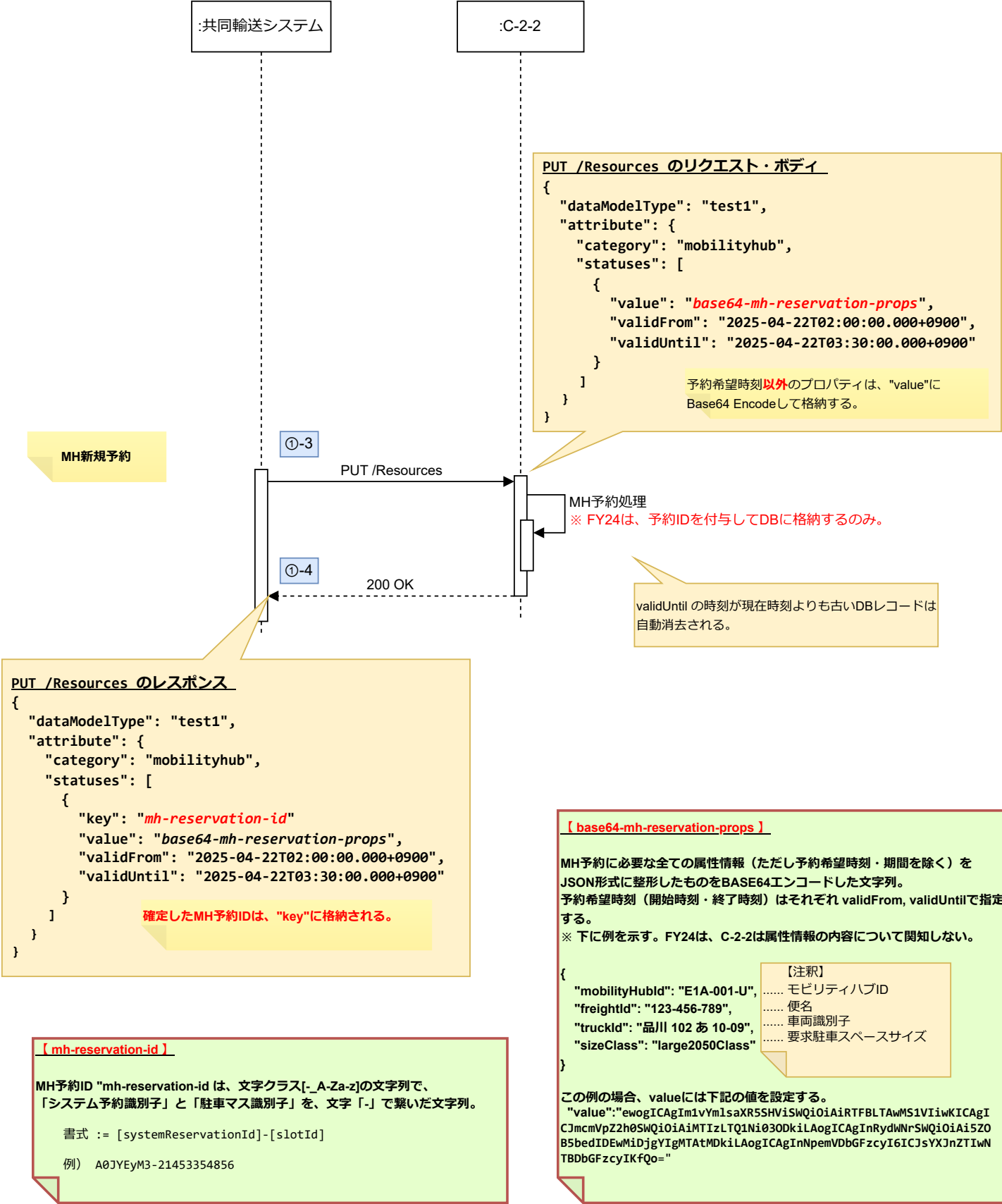
※ 薄灰色枠 で囲った部分は、FY24は未使用予定。



C-2-2[A] API 動的情報（物標情報）取得

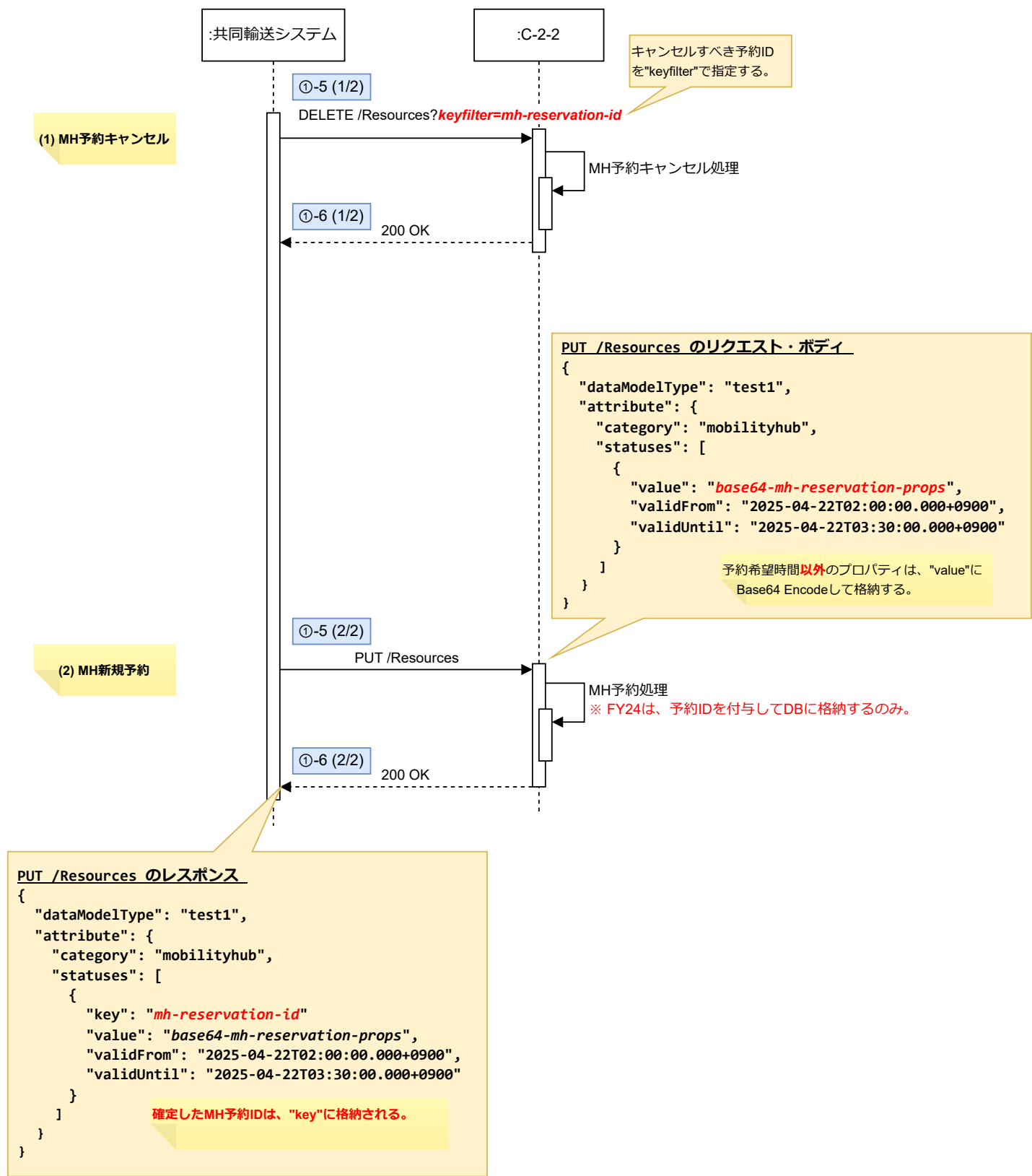


UC①共同輸送計画策定【モビリティハブ(MH)予約】



( ※ 図中の「①-n」 は、「C-2xC-4連携ユースケース案PPT資料番号」を示す )

UC①共同輸送計画策定【MH予約変更】 ※FY24の予約変更は、「(1)予約キャンセル + (2)新規予約」の2段階が必要



( ※ 図中の「①-n」 は、「C-2xC-4連携ユースケース案PPT資料番号」を示す )